

平成 24 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	運動超分子マシナリーが織りなす調和と多様性
領域代表者	宮田 真人（大阪市立大学・理学（系）研究科（研究院）・教授）
研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、ミオシンやダイニンのような既知のモータータンパク質に依存しない生体運動メカニズムに着目し、その動きを制御する分子装置（運動超分子マシナリー）の解析を目指すものであり、未解明分野に挑戦する意欲的な提案であると評価できる。各計画研究はそれぞれの分野で中心的な研究を展開している研究者から構成され、公募研究も萌芽的な研究や他分野からの新規参入を積極的に受け入れる体制となっており、若手研究者も含めたバランスの良い組織が形成されるものと期待できる。また、可視化技術に関する研究設備を共同利用とするなど、領域研究を効率的に推進するための方策がとられている。本研究領域の推進により、新規の生体運動メカニズムが解明されることや、これまで個別に解析されてきた各生体運動の中から共通性と独自性が明らかになることが期待される。</p>